

増刊号

うでまくり

一般社団法人

福島県女性経営者プラザ

みんな仲良く支え合って

一般社団法人 福島県女性経営者プラザ

会長 安 斎 恵美子



■本来であれば、5月の総会で新会長の挨拶をさせていただくところでしたが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言によって会合の中止が続ぎ、総会決議は書面表決となつてしまいました。その結果、会員の皆様とお会いする機会がないまま会長に就任することになりました。

■そこで、「今年度会長の安斎さんつて

どういう人？」という会員の方へ、簡単に自己紹介をさせていただきます。

■FJPに入会したのは、今から15年前。当時会長だった三田相談役に一目惚れしたのが入会の動機です。当時は40代：「若くていいね」なんて言われていい気になっていたら、あつという間に58歳になってしまいました。

■仕事は、二本松市で「ドコモショップ」と「印刷事業」を経営しています。そして昨年、東京新宿に「立ち飲み屋」をオープンしました。なぜ「立ち飲み屋」かと言いますと、理由は2つ。

①ITなるものに少々疲れ気味（やっぱり昭和生まれはアナログ的なものが心地良い）。②美味しい日本酒と珍味をこよなく愛するあまり（…私情満載）。

◆FJPの目的◆

- ①女性経営者としての資質向上
- ②次の女性たちのための風土づくり
- ③共同事業の開発
- ④地域・社会への貢献

正直、②が一番かもしれません。しかし、コロナウイルスの感染拡大により、当店も現在は最悪の状況です。ただ、社会もコロナ禍をきっかけにネットやデジタル通信等是否応なしに加速していくと思われまので、私たちもこれからIT社会の変革に乗り遅れないようにしっかりと学んでいかなければならないと引き締めています。

■今年度FJPのテーマは「みんな仲良く支え合って」です。毎月の定例会では会員同士のコミュニケーションを深め、事業は会員が相互協力できるような、副会長と各委員会の連携を頼りに進めて参りたいと思います。まずは7月定例会の講演会「キャッシュレス社会に生きる」で皆様と一緒に勉強できること楽しみにしております。

■会のまとめ役としては力不足な私ですが、焦らず、気負わず、私らしく、5代目会長として小さな足跡を残していきたいと思っています。皆様のご指導協力をよろしくお願い致します。

20年度・21年度
FJP新役員

●うでまくりとは

古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。天気の良い朝にバラバラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない…という意味。FJP、女の腕まくりの真価はこれから！

役員紹介

よろしく



お願いします

副会長

瀬戸孝子



FJJP会員の皆様、大変ご無沙汰しておりますが、お変わりなくお過ごしのことと思います。この度、2020年度FJJPの副会長を拝命いたしました瀬戸孝子です。どうぞよろしくお願ひ致します。今まで3つの各委員会の役もさせていただきながら、色々と勉強しながら経験をしてきました。その経験を生かし、微力ながら安斎会長

を支えて参ります。今年度のスローガン「みんな仲良く支えあつて」の通り、毎月の例会に会員の皆さんが喜んで参加したくなるような雰囲気作りはもちろん、一年間の事業計画に基づいて意義のあるFJJPであるように一会員として努力して参ります。

副会長

澤上春江



この度、福島県女性経営者プラザの副会長の職をお引き受けることになりました澤上春江でございます。

今年度、副会長としての大役が出来るかどうかが、大変不安ではございますが、皆様のお力を頂きながら努めて参りたいと思います。福島県女性経営者プラザは、平成7年11月福島県中小企業団体中央会のバックアップにより設立された、福島県の女性経営者だけの異業種交流グループです。交流・連帯を深め、女性経営者としての成長へと繋がる会になればよいと思つて

おります。大変微力ではございますが、精一杯努めさせて頂きます。ご協力の程宜しくお願い致します。

副会長

横山りつ子



震災は空から支援物資が降つてくると思っていたのでそれ程怖くなかった。しかしコロナウイルスは空と海から突然の脅威。終戦後、復興を遂げた日本は高度成長期のもと二億総中流意識で高揚し、その結果、異常気象で災害は毎年起きた。しかしコロナウイルスの脅威はもつと怖い。今後は生き方や仕事の仕方が大きく変わると思う。「新しい生活様式」が崩壊する職種を選び経済活動が停滞し私権が制される事に慣れてしまう事に危機感を覚える。今こそ女の腕まくりの真価を発揮し、新しい学びの場で活力を得たい。若い会員と共に安斎新会長のもと会員の皆様と共にFJJPを未来に繋げて行きたい。今年度も宜しくお願い致します。

震災は空から支援物資が降つてくると思っていたのでそれ程怖くなかった。しかしコロナウイルスは空と海から突然の脅威。終戦後、復興を遂げた日本は高度成長期のもと二億総中流意識で高揚し、その結果、異常気象で災害は毎年起きた。しかしコロナウイルスの脅威はもつと怖い。今後は生き方や仕事の仕方が大きく変わると思う。「新しい生活様式」が崩壊する職種を選び経済活動が停滞し私権が制される事に慣れてしまう事に危機感を覚える。今こそ女の腕まくりの真価を発揮し、新しい学びの場で活力を得たい。若い会員と共に安斎新会長のもと会員の皆様と共にFJJPを未来に繋げて行きたい。今年度も宜しくお願い致します。

					
監事 佐藤 和江	交流・広報委員長 長沢美起子	事業委員長 会田 和子	総務委員長 古川 節子	直前会長 上石美代子	
					
監事 紺野 涼	交流・広報副委員長 三部 香奈	交流・広報副委員長 古川 文子	事業副委員長 中村須美子	事業副委員長 長尾千代美	総務副委員長 伊藤 江梨
				総務副委員長 野地 千尋	相談役 三田公美子